

教育目標		「心豊かでたくましい子どもの育成」 ～いきいき・わくわく・そろって・のびよう・いわそのっ子～									
学校経営の基本方針		①学習指導要領の確実な実施 ②「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校の連携・協働を推進する ③「働き方改革」を推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保を図る ④ICTの効果的な活用による授業改善をすすめる ⑤新型コロナウイルス感染症に対する危機管理対応に取り組む							総合評価		
学校運営の柱		◎確かな学力をつける（知） ◎豊かな心情を育てる（徳） ◎たくましい体力・気力を養う（体） ◎自他の人権を大切に（人権）									
前年度の課題		・児童の積極的なあいさつ ・働き方改革の推進 ・廊下、階段歩行 ・体育的取組の充実							B		
本年度の重点目標		・あいさつの奨励・読書の推進・わかる楽しい授業づくり・体力の向上									
	評価項目	具体的目標 (評価小項目)	評価 番号	○具体的方策・●評価指標等	教員	保護 者	児童	評 価	成果と課題（評価の分析）	課題の改善策等	
学校経営全般	組織力の強化	チーム力を生かした学校経営	1	○各分掌部における、共通理解に基づいた積極的な取組の推進 ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:70～85%未満 C:70%未満	1			A	○「各分野における共通理解に基づいた取組」については、肯定的な割合が昨年度より上昇しており、各分掌としての取組を進めることができた。 ○「教職員の勤務規律・職務意識の向上」については、年々職員の意識向上が見られるが、時間厳守についてはアンケートに〇回答もあり課題が残る。 ○「一人一台端末末の活用」については、児童の評価が大きく向上しており、積極的な取組が進められた。更に効果的な活用を進めていきたい。 ○「働き方改革の推進」については、昨年度より評価指標を高く設定し「A」評価であるが、昨年度に比べて肯定的な回答が10%以上減少している。具体的な業務の見直しを進めているが、教職員としてどのような働き方が望ましいのかも検討していく必要がある。 ○「子どもとのコミュニケーション」については、児童、保護者とも肯定する割合は多いが、昨年同様保護者1割が適切でないという結果である。そのことを真摯に受け止めて取り組まねばならない。 ○「保護こ小中の交流・連携」については、今年度幼稚園児と1年生児童との交流を活性化することができた。また、教員も交流や一緒に研修を行うなど幼小の連携を大切に取組んだ。しかし、幼稚園以外の連携は十分行うことができず、課題が残る。 ○「物品管理の充実」については、今年度から新たに設けた項目である。学校運営を進める上で、教材・教具、備品を適正に活用し、また保護者の負担軽減を考慮することが大切である。どちらの項目についても肯定が100%であったが、今後も常に考慮して取組を進めたい。	○分掌部会、学年、ブロックなど、それぞれが機能的に活動し取組を進めているが、各々の連携を強め、学校チーム力の向上に努める必要がある。そのため、見通しを持った計画を進め、効率よく連携を図ることに努める。また、チーム力向上が働き方改革に繋がるよう教職員の主体的な働き方を目指す。 ○勤務規律や時間厳守については、一人一人の自覚を高め校務に取り組み、会議や作業について等、それに必要な時間も含めて計画できるよう進め、働き方改革にもつなげたい。 ○「自ら学ぶ」、子どもとともに「楽しく学ぶ」教職員として、次年度も個々の資質向上を目指し、日々OJTを充実させ、指導力の向上に努める。 ○若手教員を含め、全ての教職員が意欲を持ち、互いに支援・助言し合っ共々に学んでいく姿勢を持ち、協働・連携を図りながら学校全体の教育力の向上に努める。 ○子どもに寄り添ったきめ細やかな指導・支援に努めることで、安心して学べる学校創りを目指す。 ○本年度もコロナ禍のため、地域の協力を得て、その人材活用や、連携した取組を進めることがほぼできなかった。次年度は、協力・連携いただける機会を増やし、取組を進めていきたい。 ○保護こ小中の連携については、教務部や担当学年に任せられているところが大きい。連携の内容を共通理解して学校全体の取組としていきたい。 ○財務管理は学校運営に大きく影響する。教頭、主任主査を中心に各学年や各分掌との連携を密にしながら、今後も適正な財務管理を行っていききたい。	
	教員の資質向上	職務意識の向上		2	○勤務規律と時間厳守の徹底 ●教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70～90%未満 C:70%未満	2					A
		一人1台端末の活用		3	○一人1台端末を活用した取組を積極的にすすめる ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	3	4				A
		働き方改革		4	○校内における働き方改革を推進する ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	4					A
		教員の資質向上		5	○子どもと円滑なコミュニケーションを図る ●教ア・保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	3	2				A
	地域連携	子保幼小中連携		6	○コロナ禍においても保幼小中との教職員間の交流の実施 ●各校園所との交流 A:2回以上 B:1回 C:実施せず						B
	財務	物品管理の充実		7	○教材・教具、備品を適切に活用する ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:60%未満	5					A
			8	○保護者負担の軽減を考慮している ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:61%未満	6			A			
校内研究部	基礎学力の向上	授業力の向上	9	○児童にとってわかりやすい授業づくり ●児ア 保ア 肯定的回答 A:85%以上 B:70～85%未満 C:70%未満	5	3		A	○授業力の向上については、研究テーマ（書くことの指導の工夫）に沿って教員全員が公開授業と研修を行うことで、一人一人のスキルアップを図ることができた。また、学んだことを授業づくりに活かすことができた。 ○ブロック研修を第2木曜日と設定することで、計画的に研修をもつことができた。また、指導案の検討やスキルタイムの交流など、低中高それぞれの系統立てた研修を行うことができた。しかし、低学年から中学年、中学年から高学年の繋がりが今後必要だと考える。 ○スキルタイムを通して語彙力、漢字の読み書き、計算力などの基礎学力が身についた児童が多い。しかし、漢字や計算の力がついていない児童もアンケートでは9.5ポイントいる。また、4.8ポイントの児童が授業がよく分らないと回答している。低学力児童に基礎的な力をつけることが課題である。問題数が多く内容が難しいため、時間内に終わらせることが困難な児童がいた。 ○家庭学習の啓発は家庭訪問や個人懇談等を通じて行うことができたが、定着するまでには至っていない。引き続き家庭と児童に家庭学習のやり方や必要性を話していくことが必要である。		
		校内研究及び公開授業の充実		10	○国語科を中心とした授業研究の充実 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:65～80%未満 C:65%未満 ●研究及び公開授業の実施回数 肯定的回答 A:全編 B:85% C:85%未満	7				A	
				11	○国語科を中心とした研修の充実 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:65～80%未満 C:65%未満 ●ブロック別研修を含む研修の実施回数 A:10回以上 B:9～8回 C:7回以下	8				A	
		学習習慣の確立		12	○基礎学力をつくるための取組 ●教ア・児ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:70～85%未満 C:70%未満	9		5			A
				13	○家庭学習の啓発 ●教ア・保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	10	6				B
人権教育部	人権意識の向上	自他を大切に する 集団づくり	14	○教職員と保護者が連携を取りながら、人権意識を高める努力をしている。 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:60%未満	11			A	○感染症の状況を見て従来の地区別懇談会の開催を目指し、保護者との連携をより深められるように努力したい。（講師を招いての懇談会ができるようにしていきたい。）また、昨年度同様、道徳科の学習内容や取り組んだことをまとめ、保護者への啓発として学年だよりに掲載していきたい。 ○自尊感情を高める手だてとして、「わかる授業づくり」「認め合える学級づくり」を大切に取組を今後も続けていく。 ○一人一人の課題の把握や個に応じた支援・配慮について学校全体で共通理解できる時間を定期的にとっていききたい。 ○学校全体として誰もか認められ、安心して過ごせる学級づくりを目指した取組を今後も継続していきたい。		
			15	○自分と同じように相手のことを大切にしている ●児ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70～90%未満 C:70%未満			6	A			
		人権教育に関する研修の充実	16	○人権教育の課題について個々に研鑽し、授業づくりにいかしている ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:60%未満	12			A			
	特別支援教育の充実	個に応じた支援	17	○ひとりひとりの課題を把握し、個に応じた支援や合理的配慮に努める ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:60%未満	13			A			
特別支援体制・環境づくり			18	○誰もか認められ、安心して過ごせる学級環境づくりに努める。 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:60%未満	14			A			

生徒指導部	基本的生活習慣の向上	あいさつの励行	19	○気持ちのよいあいさつをする子どもの育成 ●児ア・教ア・保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	15	2	7	B	B	○挨拶の励行については、児童、教員アンケートの数値が少し低下していた。下校時には挨拶をしようとする児童が増えていたり、教室内では挨拶をしている児童が増えていたりするが、朝から誰に対しても挨拶をするということまで達成していないと考える。 ○廊下・階段歩行については、児童アンケートの数値は向上したものの、教員アンケートで低い数値になっていた。高学年を中心に走ったり広がったりしている様子が見られるため、意識から改善し、各学級での徹底した指導も大切であると考えらる。 ○清掃については、児童アンケートでは数値が向上していたが、教員アンケートでは少し低い数値になっていた。しかし、時間いっぱい担当場所の清掃を熱心に行っている児童が多い。 ○支援を必要とする児童への対応について、いじめ対応についてもアンケート結果はどの項目においても設定していた数値よりも高い数値を示した。しかし、児童アンケートの中には、友だちと仲良く過ごしているという項目で否定的な解答があった。	○挨拶については、自ら挨拶をすることを意識できるように、生徒指導部を中心として教師側からの挨拶カウントなどの取組を行ったり、生活委員会など委員会の活動を工夫したりすることで、自ら挨拶できるようになることを目指す。合わせて、学校だよりや学年だよりで挨拶についての取組について保護者に発信し、家庭でも挨拶を意識して声かけしてもらうように呼びかける。 ○廊下・階段歩行については、全職員がその場で徹底した指導をすることが必要である。また、安全に過ごすためにどうすればよいのか、各学級でも考えさせる機会をもつことも必要である。合わせて、委員会活動の工夫をしたり、廊下や階段にラインを引くなど視覚的にも訴えかけたりし、廊下・階段歩行に対する意識を高めて、正しい歩行を目指す。 ○清掃では、コロナ禍で行えなかった縦割り清掃を行うなど、一学期から清掃の仕方をスムーズに覚えられるようにし、学校全体を美しくするという意識を高めることを目指す。 ○支援を必要とする児童への対応についても、いじめ対応についても、肯定的解答が100%になるよう、児童の様子を注意深く観察しながら、全職員で全児童を育て、みんなが安心して過ごせる学校を目指す。
		廊下・階段歩行	20	○感染症対策も意識した廊下・階段歩行 ●児ア・教ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	16		8	B			
		掃除への取組	21	○時間いっぱい掃除することや、掃除の後始末の点検 ●教ア・児ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	17		9	A			
	教育相談体制の充実	支援を必要とする児童への対応	22	○児童支援委員会で共通理解及び適切な対応に努める ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	18			A	A		
			23	○関係機関や保護者との連携を密にする ●教ア・保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	19	4		A			
	いじめ対応	24	○アンケート等の実施による未然防止・早期発見 ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	20				A			
		25	○いじめを許さない、見逃さない学級づくり ●児ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満			10	A				
文化部	特別活動の充実	学級活動の充実	26	○学級活動時間の確保 ●時間数 A:36時間以上 B:30~35時間 C:29時間以下				A	B	○全学級で週1回以上の学級活動の時間を確保できた。 ○児童は学校・学級の一員として、係や当番など役割を果たしているという実感をもっている。しかし、コロナ禍のこともあり、児童の意識が学校全体へ向いていなかった。児童の意識を学校全体にも向かわせる働きかけが必要である。	○委員会活動を活性化させ、高学年を中心に自分たちの学校生活をよりよくするために、自ら行動できる児童の育成を目指す。
		27	○児童の学級活動への主体的な参加 ●児ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満			11	A				
		児童会活動の充実	28	○児童の委員会活動への主体的な参加 ●教ア・児ア(5・6年) 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:61%未満	21		12	B	B	○家読の実施を夏休みと秋の読書週間の2回に増やした。昨年に引き続き多くの家庭が好意的に取り組みに参加してくださり、家庭での読書や児童の読書の様子を見られるよい機会となった。 ○年間を通して計画的に市立図書館の団体貸出を利用し、読書環境を整えることにより、学習や読書活動がより充実した。 ○教師による読み聞かせも児童には好評であり、さらに充実させていきたい。	○家読の実施を長期休暇中に加え、毎月〇日を家読の日と決めて行うなどより充実させ、家庭での読書を習慣付けるきっかけとする。 ○引き続き、市立図書館の団体貸出を年間を通して有効利用していく。また、学級文庫の追加購入など計画的に環境整備を進めていく。 ○児童が本に親しみやすいよう、教師による読み聞かせや本の紹介、委員会による働きかけも増やしていきたい。
	読書意欲の向上	読書指導の充実	29	○読みたい本を選び、楽しんで読書する ●児ア・教ア・保ア 肯定的回答(そう思う) 児A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満 肯定的回答(そう思う) 教保A:60%以上 B:45~60%未満 C:45%未満	22	7	13	B			
	30	○読書環境の充実 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	23			A					
	豊かな心身の育成	芸術的行事の充実	31	○児童の文化的行事への積極的な参加(校内音楽会等) ●保ア・児ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満		8	14	A			
32			○掲示物の充実 ●学年掲示板のほりかえ回数 各学年 A:7回以上 B:5回~6回 C:4回以下				A				
保健体育部	体力の向上	体育科授業の充実	33	○児童が主体的に参加でき、運動量が確保された授業の工夫 ●児ア・教ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	24		15	A	B	○体育科授業の充実のアンケート項目について、児童アンケート(91.2)、教員アンケート(100)ともにA評価となっている。これは、教員が体育科授業の授業を工夫し、運動量が確保されたことで、児童の意欲が高まった結果であると考えられる。 ○一校一運動の積極的な参加のアンケート項目について、児童アンケート(34.6)、教員アンケート(44.4)ともにC評価となっている。これは、開催期間が不明瞭であったこと、掲示物等の工夫や告知が足りていなかったことにより、意欲が高まらなかったことが考えられる。 ○感染予防に配慮した生活のアンケート項目について、児童アンケート(96.7)、教員アンケート(100)ともにA評価となっている。これは、継続的に感染予防の声掛けを行っていることにより、意識付けができてきているからであると考えられる。	○体育科授業の充実及び感染予防に配慮した生活の項目については、継続的に取り組みを行っていくことが必要であると考えられる。 ○一校一運動の積極的な参加については、種目数を増やし、学期ごとに取り組む内容を変更し、様々な種目に取り組めるように工夫すること、掲示物や用具などの充実を図り、意欲的に参加しやすいようにすることで改善していく。
		体育的取組の充実	34	○一校一運動「なわとび」の積極的な参加 ●教ア・児ア 肯定的回答 各A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	25		16	C			
		感染予防に配慮した生活	35	○手洗い・消毒をこまめに行う、清潔なハンカチを毎日持ってくる、正しくマスクを着用する、常に間隔をあけるなどの習慣づけを行う ●児ア・教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	26		17	A			

《児童用アンケート》

2022令和4年度
大和高田市立警園小学校

A:そう思う B:どちらかといえば、そう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

質問	A	B	C	D	計	A	B	C	D
1 ①学校は楽しい。	205	104	29	5	343	59.8 (58.7)	30.3 (29.9)	8.5 (7.2)	1.5 (4.3)
2 ②先生は、悩みやトラブル等に、親切に対応してくれる。	254	75	15	1	345	73.6 (65.8)	21.7 (26.5)	4.3 (7.0)	0.3 (0.8)
3 ③授業はよく分かる。	214	103	14	2	333	64.3 (73.7)	30.9 (22.6)	4.2 (3.2)	0.6 (0.5)
4 ④ク롬ブックを使って学習に取り組んだ。	273	56	8	4	341	80.1	16.4	2.3	1.2
5 ⑤漢字や計算の力がついたと感じる。	203	108	29	3	343	59.2	31.5	8.5	0.9
6 ⑥自分と同じように相手のことを大切にしている。	254	74	12	2	342	74.3 (64.1)	21.6 (31.9)	3.5 (3.5)	0.6 (0.5)
7 ⑦毎日、あいさつができています。	153	107	68	15	343	44.6 (31.1)	31.2 (36.2)	19.8 (27.3)	4.4 (5.4)
8 ⑧廊下・階段は右側を静かに歩いている。	132	147	62	10	351	37.6	41.9	17.7	2.8
9 ⑨時間いっぱい掃除することや、用具の後片付けができています。	227	88	22	5	342	66.4 (53.2)	25.7 (35.0)	6.4 (8.6)	1.5 (3.2)
10 ⑩いじめをしないで、友だちと仲良く過ごすことができた。	267	61	12	2	342	78.1 (75.0)	17.8 (19.9)	3.5 (4.0)	0.6 (1.1)
11 ⑪生活をより良くするために、学級会や係活動などに進んで取り組んだ。	207	111	27	6	351	59.0	31.6	7.7	1.7
12 ⑫委員会活動に進んで取り組んだ。(5・6年生)	92	32	9	2	135	68.1	23.7	6.7	1.5
13 ⑬読みたい本を選び、楽しんで読むことができた。	217	67	34	14	332	65.4 (63.9)	20.2 (20.6)	10.2 (11.2)	4.2 (4.2)
14 ⑭音楽会に向けて、いっしょうけんめい取り組んでいる。	241	80	18	4	343	70.3 (71.6)	23.3 (24.4)	5.2 (2.7)	1.2 (1.3)
15 ⑮体育の授業で進んで運動し、学習に取り組むことができた。	231	82	27	3	343	67.3	23.9	7.9	0.9
16 ⑯なわとピンゴ！に進んで参加した。	68	50	72	151	341	19.9	14.7	21.1	44.3
17 ⑰手洗い、消毒を、正しくマスクを着けるなど、感染予防ができた。	255	77	9	2	343	74.3 (63.5)	22.4 (29.3)	2.6 (6.4)	0.6 (0.8)
18 ⑱友達と楽しく過ごしている。	305	31	3	4	343	88.9 (82.2)	9.0 (14.0)	0.9 (2.5)	1.2 (1.4)



《保護者用アンケート》

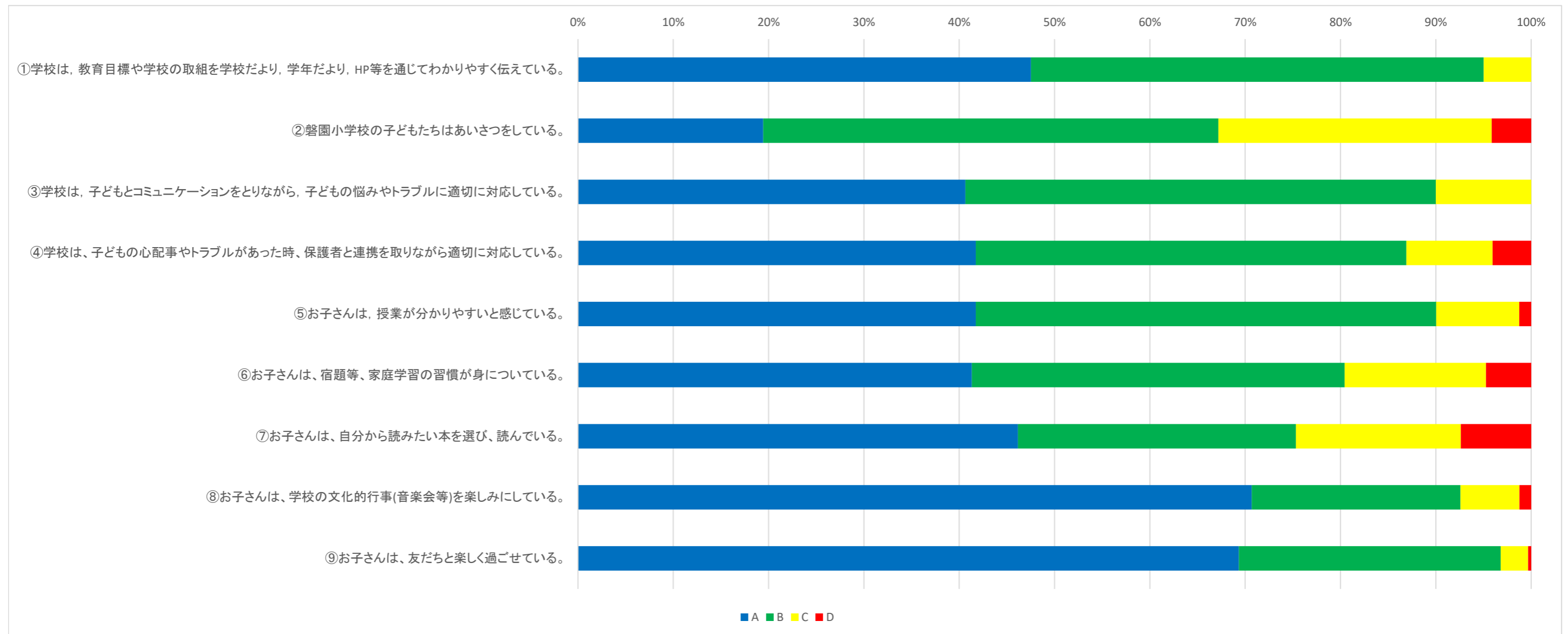
2022令和4年度
大和高田市立磐園小学校

A:そう思う B:どちらかと言えばそう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

	項目	A	B	C	D	計	A	B	C	D
1	①学校は、教育目標や学校の取組を学校だより、学年だより、HP等を通じてわかりやすく伝えている。	153	153	16	0	322	47.5 (44.0)	47.5 (50.5)	5.0 (5.2)	0.0 (0.3)
2	②磐園小学校の子どもたちはあいさつをしている。	61	150	90	13	314	19.4 (16.8)	47.8 (50.0)	28.7 (28.4)	4.1 (4.9)
3	③学校は、子どもとコミュニケーションをとりながら、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。	126	153	31	0	310	40.6 (39.0)	49.4 (52.5)	10.0 (8.0)	0.0 (0.6)
4	④学校は、子どもの心配事やトラブルがあった時、保護者と連携を取りながら適切に対応している。	134	145	29	13	321	41.7	45.2	9.0	4.0
5	⑤お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	134	155	28	4	321	41.7 (40.5)	48.3 (46.0)	8.7 (12.0)	1.2 (1.5)
6	⑥お子さんは、宿題等、家庭学習の習慣が身についている。	131	124	47	15	317	41.3 (45.4)	39.1 (39.9)	14.8 (9.5)	4.7 (5.2)
7	⑦お子さんは、自分から読みたい本を選び、読んでいる。	144	91	54	23	312	46.2 (50.0)	29.2 (26.7)	17.3 (15.3)	7.4 (8.0)
8	⑧お子さんは、学校の文化的行事(音楽会等)を楽しみにしている。	229	71	20	4	324	70.7 (70.4)	21.9 (24.7)	6.2 (4.0)	1.2 (0.9)
9	⑨お子さんは、友だちと楽しく過ごせている。	217	86	9	1	313	69.3 (71.6)	27.5 (24.7)	2.9 (3.4)	0.3 (0.3)



《教員用アンケート》

2022令和4年度
大和高田市立磐園小学校

A:そう思う B:どちらかといえば、そう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

項目	A	B	C	D	計	A	B	C	D
①各部で、共通理解に基づいた積極的な研修や取組をすすめている。【全体】	15	10	0	0	25	60.0 (39.1)	40.0 (47.8)	0.0 (13.0)	0.0 (0.0)
②教育公務員としての服務規律を遵守し、校務において時間厳守が徹底できている。【個人】	17	10	2	0	29	58.6 (65.2)	34.5 (30.4)	6.9 (4.3)	0.0 (0.0)
③一人1台端末を活用した取組を積極的にすすめた。【個人】	8	12	3	0	23	34.8	52.2	13.0	0.0
④学校全体として働き方改革を意識し、在校時間短縮などの取組をすすめている。【全体】	7	12	7	0	26	26.9	46.2	26.9	0.0
⑤教材・教具、部品を適切に活用している。【個人】	20	6	0	0	26	76.9	23.1	0.0	0.0
⑥保護者の負担軽減を考慮して教材の購入を計画している。【個人】	12	12	0	0	24	50.0	50.0	0.0	0.0
⑦児童にとってわかりやすい授業につとめた。【個人】	14	8	0	0	22	63.6	36.4	0.0	0.0
⑧研修で学んだことを授業づくりに生かした。【個人】	13	7	0	0	20	65.0	35.0	0.0	0.0
⑨基礎学力の向上に努めた。【個人】	14	11	0	0	25	56.0	44.0	0.0	0.0
⑩学習の手引きを配布したり、学年だよりで学習状況を知らせたりして家庭学習の定着を図っている。【担任】	10	6	0	0	16	62.5	37.5	0.0	0.0
⑪教職員が保護者と連携を取りながら、人権意識を高める取組をすすめている。【全体】	10	6	2	0	18	55.6 (39.1)	33.3 (39.1)	11.1 (21.7)	0.0 (0.0)
⑫人権教育の課題について個々に研鑽に努め、授業づくりに生かした。【個人】	9	15	0	0	24	37.5	62.5	0.0	0.0
⑬学校全体で個に応じた合理的配慮に努めている。【全体】	8	18	0	0	26	30.8 (34.8)	69.2 (56.5)	0.0 (8.7)	0.0 (0.0)
⑭誰もが認められ、安心して過ごせる学級環境づくりに努めている。【担任】	15	9	0	0	24	62.5 (50.0)	37.5 (44.4)	0.0 (5.6)	0.0 (0.0)
⑮児童は、あいさつが身についている。【全体】	2	15	11	0	28	7.1	53.6	39.3	0.0
⑯児童は、廊下や階段の右側を静かに歩くことができている。...	1	12	13	1	27	3.7 (0.0)	44.4 (26.1)	48.1 (69.6)	3.7 (4.3)
⑰時間いっぱい掃除をすることや、用具の後片付けができている。【全体】	8	18	3	0	29	27.6 (4.3)	62.1 (39.1)	10.3 (52.2)	0.0 (4.3)
⑱児童支援委員会や学年間、部会等で配慮や支援を要する児童の共通理解を図り、適切な対応に努めている。【全体】	14	11	1	0	26	53.8 (17.4)	42.3 (73.9)	3.8 (8.7)	0.0 (0.0)
⑲配慮や支援を要する児童に対して関係機関や保護者との連携を密に進めている。【全体】	14	13	0	0	27	51.9 (39.1)	48.1 (60.9)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
⑳いじめを絶対許さない、見逃さない集団づくりに取り組んでいる。【全体】	19	13	0	0	32	59.4 (39.1)	40.6 (60.9)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
㉑児童が委員会に主体的に参加できるよう働きかけた。【個人】	7	15	1	0	23	30.4 (56.5)	65.2 (39.1)	4.3 (4.3)	0.0 (0.0)
㉒児童が読みたい本を選び、楽しんで読書するよう努めた。【担任】	10	6	1	0	17	58.8 (30.0)	35.3 (65.0)	5.9 (4.3)	0.0 (0.0)
㉓読書好きな児童の育成に向け、読書環境を整えている。【全体】	7	16	0	0	23	30.4 (34.8)	69.6 (65.2)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
㉔運動量を確保し、楽しく主体的に取り組める体育学習を工夫している。【担任】	7	7	0	0	14	50.0 (52.9)	50.0 (41.2)	0.0 (5.9)	0.0 (0.0)
㉕児童が「一校一運動(なわとピンゴ!）」に積極的に参加できるように努めた。【担任】	2	6	10	0	18	11.1	33.3	55.6	0.0
㉖手洗い・消毒をこまめに行う、清潔なハンカチを毎日持ってくる、正しくマスクを着用する。常に間隔をあけるなどの習慣づけに取り組...	18	9	0	0	27	66.7	33.3	0.0	0.0

